



2027年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年9月11日

上場会社名 株式会社 光・彩 上場取引所 東・名
コード番号 7878 URL <https://www.kohsai-qq.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 深沢 栄二
問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理部部長（氏名） 今井 一貴（TEL）0551-28-4181
半期報告書提出予定日 2026年9月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年1月期第2四半期（中間期）の業績（2026年2月1日～2026年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年1月期中間期	3,049	48.0	443	330.4	439	360.8	303	414.5
2026年1月期中間期	2,061	△0.7	102	△6.8	95	△12.7	58	△25.6
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2027年1月期中間期	202.62		—					
2026年1月期中間期	39.38		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年1月期中間期	3,960	1,803	45.5
2026年1月期	3,417	1,547	45.3

（参考）自己資本 2027年1月期中間期 1,803百万円 2026年1月期 1,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2027年1月期	—	0.00			
2027年1月期（予想）			—	35.00	35.00

- （注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
2. 配当予想の修正につきましては、本日（2026年9月11日）公表いたしました「配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」をご覧ください。
3. 2027年1月期期末配当金の内訳：普通配当 30円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2027年1月期の業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,500	29.7	500	177.8	480	179.0	305	176.4	203.82

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2. 業績予想の修正につきましては、本日（2026年9月11日）公表いたしました「2027年1月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年1月期中間期	1,584,000株	2026年1月期	1,584,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年1月期中間期	87,596株	2026年1月期	87,596株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2027年1月期中間期	1,496,404株	2026年1月期中間期	1,496,404株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
（1）中間貸借対照表	4
（2）中間損益計算書	5
（3）中間キャッシュ・フロー計算書	6
（4）中間財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7
（セグメント情報等）	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きがみられたほか、設備投資が持ち直し、輸出にも改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策や金融資本市場の動向、中東情勢等の地政学的リスクなど、海外経済を取り巻く不確実性もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましては、金・プラチナ等の貴金属価格の高騰が続くなか、物価上昇の影響による消費者の節約志向も意識されるなど、事業環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社は、経営目的である「ジュエリー創りを通じてより良き世界を創る」の実現に向け、独自技術を活かした超軽量化商品や資産性商品など、機能性と付加価値を備えた製品の企画・提案に注力してまいりました。また、営業体制の強化を図るとともに、国内外における新規顧客の開拓や販路の拡大、既存顧客との取引拡大に取り組み、販売基盤の拡充を推進しました。

当中間会計期間におきましては、当社が展開する幅広い商品ラインアップを活かし、多様化する顧客ニーズへの対応を推進した結果、国内受注は堅調に推移いたしました。海外受注につきましても持ち直しの動きがみられ、国内外ともに安定した受注環境となりました。生産面では、受注環境に対応するため、生産体制の見直しや設備投資等を通じた生産能力の向上を図るとともに、作業効率の改善による時間当たり労働生産性の向上に取り組んでまいりました。また、地金価格の高騰やエネルギー価格等が高止まりする中、原価管理の徹底や取引条件の適正化を進め、収益性の確保に努めました。

その結果、当中間会計期間の売上高は3,049百万円（前年同期比48.0%増）、営業利益は443百万円（同330.4%増）、経常利益は439百万円（同360.8%増）、中間純利益は303百万円（同414.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ542百万円増の3,960百万円となりました。主な変動は、現金及び預金の増加66百万円、棚卸資産の増加498百万円、売上債権の減少75百万円等によるものです。

当中間会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ286百万円増の2,156百万円となりました。主な変動は、仕入債務の増加25百万円、短期借入金の増加100百万円、未払法人税等の増加107百万円等によるものです。

当中間会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ256百万円増の1,803百万円となりました。主な変動は、中間純利益の計上による増加303百万円、剰余金の配当の支払いによる減少44百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末残高に対して66百万円増加し、573百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、61百万円（前年同期は190百万円の支出）となりました。これは主に、税引前中間純利益の計上、棚卸資産の増加、売上債権の減少、未払債務の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、47百万円（前年同期は10百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得、無形固定資産の取得等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、52百万円（前年同期は36百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の増加、配当金の支払による支出等によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年1月期の通期業績予想につきましては、2026年6月10日公表の予想値を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年9月11日）公表いたしました「2027年1月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、配当予想につきましては、2026年3月13日公表の予想値を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年9月11日）公表いたしました「配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年1月31日)	当中間会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	506,805	573,686
受取手形及び売掛金	632,260	557,070
棚卸資産	1,514,241	2,012,245
その他	27,341	54,909
流動資産合計	2,680,649	3,197,911
固定資産		
有形固定資産	455,972	471,136
無形固定資産	15,854	14,676
投資その他の資産		
投資有価証券	99,851	97,444
投資不動産	26,094	26,094
繰延税金資産	—	13,968
その他	139,258	139,258
投資その他の資産合計	265,204	276,766
固定資産合計	737,030	762,579
資産合計	3,417,679	3,960,491
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	410,272	435,898
短期借入金	1,140,000	1,240,000
未払法人税等	52,222	159,501
その他	167,615	219,689
流動負債合計	1,770,110	2,055,089
固定負債		
役員退職慰労引当金	40,783	41,883
退職給付引当金	36,695	39,706
繰延税金負債	34	—
資産除去債務	3,128	3,145
その他	19,872	17,171
固定負債合計	100,513	101,906
負債合計	1,870,624	2,156,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	429,366	687,681
自己株式	△31,880	△31,880
株主資本合計	1,508,926	1,767,240
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,129	36,254
評価・換算差額等合計	38,129	36,254
純資産合計	1,547,055	1,803,495
負債純資産合計	3,417,679	3,960,491

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
売上高	2,061,008	3,049,510
売上原価	1,653,787	2,265,264
売上総利益	407,221	784,245
販売費及び一般管理費	304,265	341,110
営業利益	102,955	443,134
営業外収益		
受取利息	2	10
受取配当金	612	1,076
受取地代家賃	951	995
為替差益	—	1,940
雑収入	988	2,744
営業外収益合計	2,554	6,767
営業外費用		
支払利息	6,397	9,275
為替差損	1,527	—
雑損失	2,139	814
営業外費用合計	10,063	10,089
経常利益	95,445	439,812
特別利益		
固定資産売却益	964	—
特別利益合計	964	—
特別損失		
固定資産除却損	202	1,035
特別損失合計	202	1,035
税引前中間純利益	96,207	438,777
法人税等	37,280	135,570
中間純利益	58,927	303,206

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	96,207	438,777
減価償却費	28,750	34,431
退職給付引当金の増減額(△は減少)	356	3,011
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,100	1,100
受取利息及び受取配当金	△614	△1,086
固定資産売却損益(△は益)	△964	—
固定資産除却損	202	1,035
支払利息	6,397	9,275
為替差損益(△は益)	288	△151
売上債権の増減額(△は増加)	△77,598	75,190
棚卸資産の増減額(△は増加)	△272,276	△498,004
仕入債務の増減額(△は減少)	43,327	25,625
未払債務の増減額(△は減少)	11,973	45,510
未収消費税等の増減額(△は増加)	2,442	△27,246
前受金の増減額(△は減少)	△3,687	△7,872
その他	△1,699	16,891
小計	△165,795	116,486
利息及び配当金の受取額	614	1,086
利息の支払額	△6,968	△9,449
法人税等の支払額	△18,477	△46,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,627	61,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,530	△43,874
有形固定資産の売却による収入	1,636	—
有形固定資産の除却による支出	△70	△720
投資有価証券の取得による支出	△249	△310
無形固定資産の取得による支出	—	△2,490
その他	75	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,138	△47,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	75,000	100,000
リース債務の返済による支出	△1,655	△2,637
配当金の支払額	△37,293	△44,703
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,051	52,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△288	151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△165,003	66,880
現金及び現金同等物の期首残高	685,476	506,805
現金及び現金同等物の中間期末残高	520,472	573,686

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。